

理事通信



2月号 2014年2月1日発行



志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう。

Attend club meetings with a clear motive to make the most of them



先月25日に熊本ひがしクラブがホストで熊本スピリット（仮称）クラブが設立されました。3年ぶりの快挙です。4月26日に予定される国際協会加盟認証状伝達式には、西日本区みんなで祝福に駆けつけましょう。

顧みると昔は周年の記念行事として、新しいクラブの誕生をホストするというのが大切な事業でありました。しかし2000年以降日本の時代背景に歩みを揃えるように、クラブの新設が激減しています。決してクラブチャーターを推奨するものではありません。各部に新設されるEMC推進チームを軸に会員歴の若い人を巻き込んで、クラブの使命や存在意義を確認しあう機会を設けていただきたいのです。

繰り返しますが、ワイズメンズクラブが誕生した時期は、決して恵まれた時代ではなかったという事実を知ってください。ですから閉塞感の蔓延する日本社会が、ワイズメンズクラブをはじめとした親睦クラブが停滞している理由にはなりません。

私たちは世の中と安易に迎合せず、ワイズメン、ワイズメネットは、一個の理想主義者であることが強く求められています。そして一党一派に偏らない正義を追求し、健全な交友関係を創り出すのが使命です。『健全な』という言葉には、いろいろな意味が内包されていますが、健全な交友関係を創り出すという意は、まさしく親睦に繋がります。

2月はTOF、CS、FFの強調月間です。TOFに対する理解の機会を例会でもっていただき、2月末日のBF(使用済み切手応募)締め切り、3月15日の各種献金締切に皆様のご芳志をお寄せいただきますよう、お願いいたします。

西日本区理事 高瀬 稔彦

今月の聖句

正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ、のどが渇いておられるのを見て飲み物を差し上げたのでしょうか。いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたのでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたのでしょうか。』そこで、王は答える。『はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』

(マタイによる福音書 25 章 37-40 節)

聖句黙想

私たちは2月に「断食の時」を覚えてプログラムを持ちます。飢餓に悩む地域に「忘れていない」「忘れられていない」ことを伝えあう献金です。キリスト教の一番大切な祭り、復活日礼拝の前にイエスの受難を覚えて断食する伝統と重なる設定です。人が幸せを実感するのは、愛する人と食卓を囲む時でしょう。顔と顔を合わせて「おいしいね」と言い交せる時が世界中に満ちますように。

クリスチャニティー特別委員チャプレン 江見淑子

2-1 2 月度強調月間 TOF・CS・FF

ひとりひとりの思いやりの心が大きな実を結びます。

献金にご協力ください。

2013/2014 年度、TOF-GPF より、10 の新しいプロジェクトが資金提供を受けることになりました。ボリビア、チリ、エクアドル、インド、スリランカ、ザンビア、ケニアの7ヶ国のさまざまな事業に皆様からの献金が使われています。

西日本区では現在までに CS 資金による支援が 9 件、FF 資金による支援が 1 件決定されており、有意義な活用がなされています。

あなたの思いやりの心が大きな実を結び、
未来を担う子どもや若者に希望を与えているのです。



地域奉仕・環境事業主任

生雲 文枝 (大阪なかのしまクラブ)

2-2 後期半年報 集計結果

後期半年報の数値が確定いたしました。2014年1月1日現在85クラブ
1609名です。前期半年報対比5名増ですが前年同期比では29名減です。

2-3 後期区費払い込みのお願い

後期半年報に基づき各クラブへ請求書と「払込取扱票」が送付されます。
納付期限は2月15日です。よろしくお願いいたします。

2-4 奈良傳賞 候補者の推薦

奈良傳賞は、「永年にわたり多くのワイズメンより敬愛され、かつワイズメンの鑑とみなされる有為の人材」を表彰し、日本ワイズの創始者 奈良 傳 の名を後世に残すものです。今年度の奈良傳賞受賞者審査に際しまして、同賞に相応しいワイズメンをご推薦いただきたくお願いを申し上げます。

推薦に関しましては、要領をご覧くださいご考慮の上、ご推薦をお願い致します。

被推薦者の資格は、「西日本区奈良傳賞資格審査委員会規則」によります。

ロースター（P.31）第7条を参照してください。

提出期限（**期限厳守!**）2014年2月28日（金）郵送にて、

送付先 〒740-0023 岩国市川下町3-8-52-3 西日本区理事 高瀬稔彦 宛

期限までに必着するようにお送りください。

2-5 CS資金のお願いと使用済み切手の送付期限

□ 地域奉仕・環境事業資金のうちCS資金（お年玉付き年賀葉書当選切手の収益金および自由献金その他の収入）を是非ご献金下さい。

今年のお年玉付き年賀葉書の4等当選番号は下2ケタ 72 74です。

お手元の年賀はがきを今一度ご確認ください、換金の上ご送金下さい。

また書き損じ葉書を切手に換え、換金の上一緒に送金していただいても結構です。

□ 使用済み切手は2月末日までに到着のこと。

送付先: 〒156-0045 東京都世田谷区桜上水5-11-8 (有)フクオ Y's 係

専用返信はがきを同封して送って下さい。

2-6 第17回西日本区大会の登録

2014年6月14日（土）15日（日）に開催されます第17回西日本区大会の案内書がお手元に届きましたでしょうか。登録開始は2月3日（月）から、申込締切は4月30日（水）となっております。クラブ単位でお早めにお申し込み下さい。精一杯の準備を進めて皆様とお会いできることを楽しみにしておりますので、是非岩国にお出でくださいませ、よろしくお願いいたします。

2-7 スケジュール

- 2月15日(土) 13:30～17:30 神戸学園都市20周年記念例会
会場：エスタシオン・デ・コウベ 会費7,500円
- 2月15日(土) 13:30～15:30 元国際会長 藤井寛敏氏 講演会
[ワイズメンズクラブの国際事業について]
会場：大阪YMCA 10Fチャペル 参加費無料
主催：大阪なかのしまクラブ
- 2月16日(日) 16:00～京都東稜クラブ10周年記念例会
会場：メルパルク京都 5F
- 3月8～9日 次期会長・主査研修会
- 3月16日(日) 14:00～ 東日本大震災復興支援フォーラム
会場：大阪南YMCA 2F 参加費無料
基調講演 環境大臣政務官 浮島とも子氏(予定)
- 4月5日(土) 17:00～京都キャピタルクラブ30周年記念例会
会場：ウエスティン都ホテル京都 会費10,000円
- 4月12日(土) 熊本にしクラブ5周年記念例会
- 4月19～20日 西日本区第3回役員会、第1回準備役員会
- 4月26日(土) 熊本スピリットクラブ加盟認証状伝達式
- 5月11日(日) 15:00～京都めいぷるクラブ30周年記念例会
会場：ウエスティン都ホテル京都 会費：10,000円
- 5月17日(日) 熊本ヤングクラブ5周年記念例会
- 6月7日(土) 第17回東日本区大会
会場：浅草公会堂・浅草ビューホテル
- 6月14～15日 第17回西日本区大会
会場：シンフォニア岩国・岩国国際観光ホテル
- 7月6日(日) 和歌山紀の川クラブ30周年記念例会
会場：ホテルグランヴィア和歌山 会費：10,000円

2-8 理事事務局より

仙台YMCA総主事村井伸夫様よりお礼状と盛岡YMCAよりご報告をいただきましたので記載させていただきました。またEMC事業ミニ通信第2号の掲載漏れがありましたので今回記載させて頂きました。

理事通信への掲載 クラブ周年例会や部・クラブ事業等で皆様にお知らせがありましたら、理事通信に掲載が可能なこともあります。毎月20日までに理事事務局までご連絡ください。

理事事務局 渡辺悦司(呉) e-mail: 2013e.watanabe@gmail.com



2014年1月

ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区のみなさま

御 礼

主の御名を讃美いたします。

東日本大震災により被災した宮城県沿岸部への支援を、いち早く申し出いただきましたのがワイズメンズクラブ西日本区のみなさまでした。当時を振り返り、その時の感動を新たにいたします。その後、大震災発生から3年の間、ワイズメンズクラブ西日本区のみなさまから絶えることないご支援と励ましを賜りまして、心底より感謝を申し上げます。

2012年と2013年にご支援いただきました奨学金は、被災地で困難な生活を強いられている高校生たちに、自分の夢を目指し仙台YMCA国際ホテル専門学校へ進学することを実現するためのものでした。2013年度の学生に希望者はおりませんでした。2014年度にホテル科パティシエベーカリーコースへ入学が決まった学生の希望を受入れ、奨学金を2年間支給させていただくことになりました。この学生は、盛岡YMCA宮古ボランティアセンターでの支援活動へ参加した経験を持ち、入学後も被災地支援活動へ参加する意思を持っています。また、2013年7月に実施されました仙台YMCA－韓国議政府YMCA交流サッカーキャンプには、宮城県山元町のサッカースポーツ少年団の選手と指導者20名を招待いたしました。これもワイズメンズクラブ西日本区からの支援金により実現することが出来ました。校庭の半分に仮設住宅並ぶ環境の中で、久しぶりに広いグラウンドで伸び伸びサッカーができる喜び、狭く制限の多い仮設住宅での生活にはない自分らしさを素直に出せる3日間となりました。さらに、日韓2国間での問題が取りざたされる中においても、少年たちは寝食を共にしながらフェアプレーの精神を発揮する交流の姿こそが、将来の日韓2国間の友好な関係を期待させるものとなり、山元町の少年たちばかりでなく参加したすべての少年たちにとって意義あるものとなったことを、感謝をもってご報告いたします。

被災地において、産業の復興は被災者の生活復興に先んじて進んでいることは実感できるようになりましたが、仮設住宅に残された被災者の方々の孤立感と孤独感は高まるばかりです。さらに、仕事に就けない家庭の子どもたちにとって、未だ将来は明るいものではありません。仙台YMCAでは、2014年度以降も被災地児童のリフレッシュプログラム、高齢者の訪問ケア活動、奨学金による被災地青年進学支援活動、ふるさと復興応援活動等々を、在仙の3ワイズメンズクラブと協働してすすめてまいります。

ワイズメンズクラブ西日本区のみなさまにおかれましては、被災地において被災者支援活動を継続する宮古ボランティアセンター、石巻支援センター、仙台YMCAへのご指導とご支援を引き続きお願い申し上げますとともに、主の御祝福がみなさまに豊かにありますことをお祈り申し上げます。－感謝をもって－

仙台YMCA総主事 村井伸夫



2014年1月9日

ワイズメンズ西日本区会員の皆様

盛岡 Y M C A

理事長 石渡隆司

総主事 濱塚有史

盛岡 Y M C A 宮古ボランティアセンター活動のご報告

新年明けましておめでとうございます。皆さまにとって本年が健康で希望に満ちた年となりますようお祈り申し上げます。

盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンターが行っております被災地復興支援活動に対し継続的なご支援を賜り心より感謝申し上げます。皆さまから頂戴した献金は以下の活動の使わせて頂いております。被災地への関心が薄れゆく中、復興は進まず、いまだに多くの方々が仮設住宅での生活を余儀なくされ、不登校の中学生が増加するなど、課題はつきません。今後とも末長いご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

記

1. 宮古を愛する子どもたちの育成事業

- ① 地元の NPO と協同して、年間を通して野外活動を行うことにより、宮古をとりまく自然に親しみ、地元を愛する子どもたちを育成します。(年 10 回開催)
- ② 地元の中学生、高校生のボランティアを育成します。(ボランティア講座の開催等)

2. ふれあい交流事業

- ① 毎朝の横断歩道での交通安全指導
- ② 仮設住宅でのレクレーション お餅つき、焼きそばなどでの交流
- ③ 鉾が崎地区での花壇づくり

盛岡 YMCA 宮古ボランティアセンターは、上記 1、2 の活動を 2014 年も取り組んでいく予定です。特に、1 の青少年の育成を重視し、今後長期にわたって取り組んでいく課題と考えています。1 に関わった青少年が 2 にボランティアとして参加していく流れを宮古に地で他団体との共同の中で作っていくことを目標にします。



以上
地元の方々や、高校生のボランティアも参加してくれるようになっていきます

岩手マリフィールドと協同して、宮古の子どもたちが宮古の海に乗り出しました

EMC事業主任 為国 光俊 (京都パレス)

ゲスト歓迎型例会やプラスワン例会(部やクラブによって名称は違います)が各地で開催されています。このような企画例会は、集客、講師の選定、例会進行、プログラム内容の充実と準備は大変だけれども、終えた後のメンバーが得るものも大きいと言えるのではないのでしょうか。EMCは、メンバーが充実し前向きに歩めるクラブを作り、その人の輪を拡げていくこと、がとても重要だと思います。出席させていただいて感じたことは、みなさん元気いっぱいだったこと。ワイズを楽しんでおられました。

ゲスト勧誘型例会への訪問

●9月5日(木) 長浜クラブ プラスワン講演例会

ヒット曲の仕掛け人といわれる徳間ジャパンの篠木氏をゲストスピーカーに迎えてのプラスワン例会が企画されました。この開催を地方紙にも掲載して広く広報されたことで、メンバーが誘われたゲスト以外にも一般聴講の方々も参加されるなど、新たな試みもおこなわれていました。今後のメンバー増強につながる例会であると共にワイズの認知度アップにもつながったと思いました。



●9月11日(水) 京都トップスクラブ フレンドリー例会

ゲストスピーカーに元プロ野球選手であり京都キャピタルクラブメンバーの大門氏を迎えてフレンドリー例会が開催されました。メンバーが誘ったゲスト(ワイズ以外)は総数29名。さらに2名同時入会式がおこなわれ、賑やかな中にも引き締まった例会となりました。例会後の懇親会も準備されており、十分な親睦がはかれていました。緊張感のあるお手本のような例会だと感じました。



●9月18日(水) 京都グローバルクラブ 100人例会

出席者が100名になる例会を開催してEMCに繋げていこうと実施された100人例会。ラグビー元日本代表の大八木淳史氏をゲストスピーカーとして開催されました。集まった人数は、軽く100名を超えて127名の例会となりました。特筆すべきはゲスト(ワイズ以外)の人数が57名となり、メンバー数に近いゲストの方々に参加されました。今後のメンバー増強につながるように期待が持てる例会となりました。



ゲスト歓迎型例会やプラスワン例会(部やクラブによって名称は違います)は、ワイズを認知してもらったりメンバー増強につながるEMCとして意義がある事業となります。実施される際には、ぜひお声がけください。時間のある限りご訪問させていただきます。

EMC事業主任 為国 光俊

各部でのEMC研修会開催

●11月9日(土) 中西部EMCシンポジウム場所 大阪YMCA

中西部では、部のEMC推進チームが設置され、工藤委員長から組織構成や今後の活動方針が発表され、あわせて会員増強の重要性を説かれました。各クラブ会長からも今期のEMC活動状況が報告され情報共有が行われました。その後の懇親会では、ベテランと若手に別れて開催され、若手チームの方は塚部長を囲んで活発な意見がなされて大変充実したものになりました。これを機会にクラブを越えた繋がりができれば大きな活性化になると感じました。



EMCに関する例会への訪問

●11月14日(木) 神戸ポートクラブ入会式

グリーンヒルホテル神戸を例会場にされている神戸ポートクラブでは今期に入って2人目の入会式がおこなわれました。やはり、山田六甲部長のお膝元クラブでありまので着実に会員増強を図られています。例会では、全国リーダー会研修と国際ボランティアリーダー活動の報告があり、リーダー達が、活動を通じて心の成長があったことの喜びを全員で共有することができました。メンバーの成長がEMCに繋がるのだと思います。ゲスト勧誘型例会への訪問



●11月27日(水) 京都トゥービークラブ入会式&ゲスト歓迎型落語例会

10名のゲストを招いての落語例会が開催、あわせて2名同時入会式がとりおこなわれました。このようにゲストを呼びやすいようなプログラム内容を組み立てるのがトゥービークラブの企画力の高さだと思います。また、トゥービークラブは「利己利他」の精神をクラブモットーとして掲げられるので、そのお言葉を通して、奉仕に対する知識や経験がない人にも、ワイズのことをわかりやすく説明できるのではないかと感じました。



●11月28日(木) 京都ウエストクラブEMC例会

京都ウエストクラブでは、入会勧誘のための例会が開催され、16名のゲストが参加されていました。ウエストクラブの歴史を綴った映像で活動内容を説明し、ワイズ歴の浅いメンバーへのインタビューでワイズの楽しさをわかりやすい視点で伝え、食事もパーティー形式にして懇親をはかるプログラムになっており、格式がありながらも楽しく、オリエンテーションも兼ねるといふ、まさにオールインワンパッケージ化されたものでした。これは、おもしろい!



●12月3日(火) 京都パレスクラブEMCオリエンテーション

メンバーが入会していただきたいと思う方を集めて、入会勧誘するための説明&勧誘のオリエンテーションを例会場であるホテルでおこなわれました。パワーポイントによるクラブ概要説明とクラブに入会することで人生がどのように豊かに変わるかをメンバーの経験をもとに語る2部構成の内容でした。オリエンが終わった後は懇親会が催され、6名が参加されたなかで2名の入会が決まり、入会意志の高い方も2名獲得されていました。



地域奉仕・環境事業ミニ通信3号

地域奉仕・環境事業主任 生雲 文枝（大阪なかのしま）

TOF-GPF・CS・FF 強調月間

ひとりひとりの思いやりの心が大きな実を結びます。献金にご協力ください。

1. CS 献金 目標 1人 1,500円

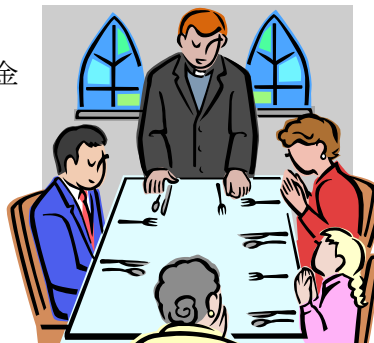
お年玉年賀はがきの4等当選切手シートと自由献金

今年の当選番号は 下2けた

72, 74

各クラブで換金して、現金を送金してください。

2. TOF-GPF 献金 目標 1人 1,200円



3. FF 献金 目標 1ファミリー 800円

対象会員数は前期（7月）半年報で計算（連絡主事は含みます。）

4. 国際統一事業

ロールバックマラリア 目標 1人 800円

5. 東日本大震災復興支援金 目標 200万円、 1人 1,200円

TOF-GPF・CS・FF・ロールバックマラリア献金の締切日は3月15日です。

東日本大震災復興支援金は随時受け付けております。

また、送金される際、通信欄に内訳を必ずご記入下さい。